



広

陵

町

議会 だより

新議員誕生!

 No.93

平成28年5月1日

目次

- | | |
|----|-------------------|
| 2 | 新体制スタート
第1回臨時会 |
| 4 | 第1回定例会 |
| 9 | 当初予算を可決 |
| 10 | 町政を問う一般質問 |
| 15 | 委員会の窓 |
| 18 | 意見書 |
| 20 | 議会日誌 |

常任委員会構成決まる

一定部門の事務に関する調査及び議案、陳情等の審査を行うために、総務文教委員会と厚生建設委員会の常任委員会があります。また、議会を円滑にするために、2つの委員会から各3名ずつにより議会運営委員会が設置されております。

総務文教委員会

〈主な所管事項〉

行政一般、財政及び他の委員会に属さない事項を審査



委員長
堀川 季延



副委員長
谷 禎一



委員
山田美津代



委員
吉村真弓美



委員
吉村 裕之



委員
笹井 由明



委員
青木 義勝

厚生建設委員会

〈主な所管事項〉

社会福祉、保健衛生、労働その他厚生一般に関する事項及び土木、耕地、都市計画その他建設一般に関する事項及び商工、観光、上下水道事業に関する事項を審査



委員長
八尾 春雄



副委員長
濱野 直美



委員
吉田 信弘



委員
山村美咲子



委員
坂野 佳宏



委員
坂口 友良



委員
奥本 隆一

議会運営委員会

- 委員長 山村美咲子
- 副委員長 吉村 裕之
- 委員 山田美津代
- 委員 坂野 佳宏
- 委員 坂口 友良
- 委員 青木 義勝

人事



◆町監査委員（議会選出）の選任に同意

町監査委員のうち、議会議員

から

青木 義勝 議員（南）

を選任することに同意しました。

平成28年
第1回
定例会
2月25日～3月11日

審議結果は次のとおりです。

条例

議案第1号 広陵町行政不服審査会設置条例の制定について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 申立人による陳述を省略する改悪を含んでいる。これでは住民の意見表明により行政が改善される希望が断たれる。

賛成討論 公正性の向上、使いやすさの向上、国民の権利手段の充実・拡充を行うことを目的として大幅な制度改正が行われたことを受け整備するものであり、適正に措置されるものである。

議案第2号 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 (第1号の反対討論に同じ)

賛成討論 関係する条例について必要となる改正を行うものである。

議案第3号 地方公務員法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

採決結果 全員一致で可決

議案第4号 広陵町行政組織条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

議案第5号 広陵町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 月額1万円の報酬削減をしているときに年間2万円余の増額など矛盾している。町会議員は範を示すべきである。

賛成討論 特別職の国家公務員の給与等の改定に準じて見直すものであり、議員報酬そのものを改めることは性質が違う。

議案第6号 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 ①12名の議員の意見で事実確認の究明、再発防止策について強く指摘しているが、一切示されていない。
②前年の申込時点で約40人の待機児童が出ており、平成27年4月に待機児童ゼロにするための緊急措置で、法律違反は是正されており、減額不要である。

賛成討論 町が法令違反を行つたことのけじめだ。再発防止のためには教育や幹部職員の意識改革

がさらに問われるもので議会の監視も強めたい。
一般的に他の市町村の事例と比べても妥当な減額であり、期末手当の増額改定も先送りしていることから、反省が伺える。

議案第7号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 町運営に責任を持つ特別職として、範を示すべきである。

賛成討論 議案第5号で述べたとおり。特別職だから改定を控えるという根拠も乏しい。



議案第8号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

議案第9号 職員の旅費に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

議案第10号 広陵町学校給食費徴収条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 子どもの貧困対策や子育て支援の考え方を基準に算定すべきものだ。提案は昨年月額500円もアップした小学校給食を基準にしている。

賛成討論 学校給食摂取基準に基づいて給食費算出根拠の説明があり、中学校給食費は妥当である。

議案第11号 広陵町介護保険条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

議案第12号 広陵町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び広陵町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のため効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正することについて

採決結果 全員一致で可決

予算

議案第13号 平成27年度広陵町一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出それぞれ7,595万円の減額補正

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 町長公約違反の中学校給食共同給食センターに関する修正や情報漏洩が心配されるマイナンバー制度に関する補正であり賛成できない。

賛成討論 不用額や不足額を整理するための補正予算であり、必要に応じて増額、減額が行われている。

議案第14号 平成27年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ2,716万5千円の追加補正

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 高すぎる国保税のいからかでも緩和するために、収益の一部は被保険者に還元すべきだ。

賛成討論 国保財源調整基金に積み立て補正予算も適切に事務処理されている。

議案第15号 平成27年度広陵町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ1,86万9千円の追加補正

採決結果 全員一致で可決

議案第16号 平成27年度広陵町介護保険特別会計補正予算(第3号)
財源の振替等による補正のため予算額の増減はありません。

採決結果 全員一致で可決

議案第17号 平成27年度広陵町墓地事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ2,092万2千円の減額補正

採決結果 全員一致で可決

議案第18号 平成27年度広陵町学校給食特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ1,660万8千円の減額補正

採決結果 全員一致で可決

議案第19号 平成28年度広陵町一般会計予算

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 元気号の運行や料金について住民の声をよく聞かずに進めようとしている。国の悪政を受け入れ、マイナンバー制や認定

こども園の推進で住民の懸念はさらに拡大する予算だ。

賛成討論 地方創生という観点から、まちづくりに対しても非常に前向きに取り組まれている。認定子ども園、中学校給食という重要な施策が含まれている予算である。

議案第20号 平成28年度広陵町国民健康保険特別会計予算

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 この30年で国の負担金をほぼ半減し、収入不足を保険増税で補ってきた。この結果住民は収入の1割を超す保険税の負担を強いられている。

賛成討論 不確定要素はあるものの、現行制度上、安定的な国保事業の運営と財政の基盤強化を目指した内容であり、健診などの健康増進事業や医療費の適正化対策にも配慮した予算編成になっている。

議案第21号 平成28年度広陵町後期高齢者医療特別会計予算

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 受けられる医療を年齢で差別するこの制度は廃止が相当だ。75歳以上の代表者が広域連合議会に反映できない非民主的の制度となっている。

賛成討論 本制度の現状は、「社会保障制度改革」の統一見解として現行の枠組みを維持し、時代に即して必要な改善を加えながら安定的な運営に努めるべきとの情勢である。何ら不備を認める次元のものではない。

議案第22号 平成28年度広陵町介護保険特別会計予算

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 介護サービスを保険から外したり、被保険者負担を増やしたり、預金の調査を強化したり、2割負担を導入したり等、制度大改悪の一里塚だ。

賛成討論 地域包括ケアシステムの構築に向けた予算計上となっている。

議案第23号 平成28年度広陵町下水道事業特別会計予算

採決結果 全員一致で可決

採決結果 全員一致で可決

議案第24号 平成28年度広陵町墓地事業特別会計予算

議案第25号 平成28年度広陵町学校給食特別会計予算

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 高額の中学校給食費を前提にしている。調理業務を民間委託するのは町の責任をあいまいにする。子どもの貧困や子育て支援の考え方も反映させるべきだ。

賛成討論 小学校給食の調理を民間委託した事で、職員の管理、指導が徹底されている。食材の点検も厳しくチェックされるようになった。

議案第26号 平成28年度広陵町用地取得事業特別会計予算

採決結果 全員一致で可決

議案第27号 平成28年度広陵町水道事業会計予算

採決結果 全員一致で可決

専決・報告

報告第1号 広陵町税条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告について



その他

議案第28号 広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略を定めることについて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 自公政権の大企業優先、社会保障縮小政策の結果、子育てしにくい世の中になっていることに目を向けず、「子どもを産め、東京集中をやめよ」と言っても埒があかない。

賛成討論 策定については、住民の代表も参加し、慎重に話し合いがもたれている。

議案第29号 広陵中学校配膳施設増築工事に係る請負契約の変更に ついて

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 前提となる昨年9月25日の補正予算に反対している。共同給食センターでなく自校方式の調理とすべきであった。

賛成討論 自校方式ではないから反対というのはおかしい。一日も早く良い中学校給食を実現すべきである。

議案第30号 真美ヶ丘中学校配膳施設増築工事に係る請負契約の変更について

採決結果 賛成多数で可決

反対討論 (第29号の反対討論と同じ)

賛成討論 請負契約の変更に ついての説明を受け、現場も確認した。

議員提出議案

議員提出議案第1号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて

採決結果 賛成少数で否決

反対討論 今後の広域ゴミ処理等を考慮した場合、永年、全てのゴミ袋を無料化は問題がある。目的、計画性を持った一部無料化が適正と考える。

賛成討論 町の責任で実施すべき事業なのに、住民税を負担している住民に二重払いさせている。有料化10年で環境への意識も相当にレベルが高まっている。

議員提出議案第2号 予算審査特別委員会設置に関する決議について

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案第3号 無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書について

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案第4号 若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書について

採決結果 賛成少数で否決

反対討論 年金制度は世代間の助け合いの仕組みであり、少子高齢化が進む中で、年金の長期的な持続可能性を確保するためにはマクロ経済スライドはかせないものである。

賛成討論 現在の受給者にとどまらず、将来の受給者が受け取る年金は物価上昇分を反映した額とすべきだ。

議員提出議案第5号 児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書について

採決結果 全員一致で可決

議員提出議案第6号 食品におけるトランス脂肪酸の表示に関する意見書について

採決結果 全員一致で可決

広陵町議会 平成28年第1回定例会 議決結果一覧

◆全会一致で可決、同意、承認した議案

報告第1号	議案第3号	議案第4号	議案第8号	議案第9号
議案第11号	議案第12号	議案第15号	議案第16号	議案第17号
議案第18号	議案第23号	議案第24号	議案第26号	議案第27号
議員提出議案第2号	議員提出議案第3号	議員提出議案第5号	議員提出議案第6号	

◆賛否の分かれた議案

○……賛成 ×……反対

議案	堀川季延	谷禎一	吉村眞弓美	坂野佳宏	山村美咲子	竹村博司	奥本隆一	吉田信弘	坂口友良	青木義勝	笹井由明	八尾春雄	山田美津代	八代基次	議決結果
議案第1号 広陵町行政不服審査会設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません	○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第2号 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第5号 広陵町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第6号 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正することについて	○	×	×	×	×	○	○	○	○		○	○	○	○	原案可決 (賛9・反4)
議案第7号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第10号 広陵町学校給食費徴収条例の一部を改正することについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第13号 平成27年度広陵町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第14号 平成27年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第19号 平成28年度広陵町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第20号 平成28年度広陵町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第21号 平成28年度広陵町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第22号 平成28年度広陵町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第25号 平成28年度広陵町学校給食特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第28号 広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略を定めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第29号 広陵中学校配膳施設増築工事に係る請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議案第30号 真美ヶ丘中学校配膳施設増築工事に係る請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○	原案可決 (賛11・反2)
議員提出議案第1号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	否決 (賛2・反11)	
議員提出議案第4号 若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	否決 (賛2・反11)	

平成28年度当初予算を可決

一般会計予算 119億円

平成28年度一般会計など各会計予算の9議案は、予算審査特別委員会を設置し、議案についての討論が行われましたが、すべて原案どおり可決されました。

新規事業の主なもの

● 北幼保連携型認定子ども園整備事業(設計)	2億 602万円
● 中央体育館災害対策設備改修工事	5,070万円
● 証明書コンビニ交付事業	5,052万円
● 山辺・県北西部広域環境衛生組合の設立	1,765万円
● 小・中学校普通教室空調整備事業(設計)	2,700万円
● 小・中学校トイレ改修事業	1,400万円
● 図書館システム入替事業	1,379万円

継続事業の主なもの

● 図書館ガス空調設備の入替事業	5,338万円
● 特別史跡巢山古墳保存修理事業	4,139万円
● 水道業務の総合事業	1,500万円
● 大谷・奥鳥井線整備事業	2,500万円
● 広陵町安全安心事業	2,100万円
● 街路LED化更新事業	2,000万円
橋りょう長寿命化修繕事業、百済中央線バイパス整備、交通安全施設等整備事業(南郷8号線及び百済赤部線整備、広陵町周遊自転車走行空間整備など)	

■平成28年度議会関係当初予算■

報酬	5,011万円	議員報酬14人分
給料	1,391万円	職員給料3人分
職員手当等	2,732万円	議員期末・職員期末勤勉手当 2,426万円 その他手当 306万円
共済費	2,453万円	議員共済負担金他 1,998万円 職員共済負担金 455万円
旅費	87万円	議員費用弁償 79万円 職員旅費 8万円
交際費	30万円	議長交際費
需用費	300万円	議会だより印刷代 147万円 法規追録・新聞・図書代 86万円 その他 67万円
役務費	7万円	自動車損害保険料 4万円 その他 3万円
委託料	167万円	会議録作成及び検索システム委託
使用料及び賃借料	129万円	会議録検索システムAP S使用料 52万円 その他 6万円 録画映像配信システム使用料 52万円 委員会視察用バス使用料 19万円
負担金補助及び交付金	342万円	北葛城郡議長会負担金 174万円 政務活動費14人分 168万円
合計	12,649万円	前年度比較 1,256万円の減(9.03%減)

質 一
問 般

こころが聞きたん!

町政を問う



一般質問を3月3日、4日に行いました。一般質問は、議員が町の行政全般にわたって理事者に対して、事務の執行状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求めましたは疑問を質すために行います。

広陵町議会は、通告制(質問内容をあらかじめ議長に提出する。)を採用し、一議員、一時間の持ち時間で、質問回数に制限はありません。

なお、質問内容及び答弁内容については、紙面の都合上、要約掲載となっておりますので、詳細については会議録をご覧ください。

会議録は、6月上旬に町役場及び町施設のサービスカウンターに配置し、広陵町ホームページに掲載する予定です。

※答弁者の「理事者」との記載は町長、副町長、教育長、関係部長の発言を要約して掲載する場合に用いています。



奥本 隆一

「青パト」公用車増やし防犯強化で安心・安全な町づくり

問 全ての公用車に青色回転灯を装備し、「青パト」化にすることを提案する。

本町は、現在、青パト4台を所有し、防犯パトロールに努めている。すべての公用車に脱着式青色「回転灯をつけ「青パト」化し、職員が町内を走行する際に防犯パトロールを兼ねて点灯し、地域住民に安心感を与えるとともに、身近な犯罪や不審者に対する抑制効果も高めることになるかと考えるが如何。

山村町長 現在、本町では危機管理課において毎週2日、教育委員会において毎月第3金曜日に青色防犯パトロールにて町内を巡回している。日中の公用車による青パト拡大につきましては、見せる防犯活動として最も有効な犯罪抑止活動であると考えており、さらに地域と町職員との共同連携による防犯活動が住民の皆さんに、より安全・安心を感じて

いただけるものと考えており、あらゆる手立てで防犯対策に努めてまいります。

高齢者に「防犯用通話録音装置」の無償貸与を

問 概ね65歳以上で、高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯、日中高齢者のみとなる世帯などが対象で貸与する。この装置は、電話がかかると「振り込め詐欺など犯罪防止のため録音します」とアナウンスがされてから録音を開始するもので、高齢者の詐欺被害防止に効果があると思いがどうか。

山村町長 議員ご提案の事業につきましては、いくつかの市町村で助成方式または貸与方式で実施しているところがある。

議員のおっしゃるとおり、この装置には、特定詐欺などを抑止する効果が認められるものだと考えられる。

現在、広陵町では消費行政相談や警察の広報活動によって、住民自身の行動に反映できていないものと評価している。今後は、高齢者の詐欺被害防止のために、警察の協力をいただきながら、老人クラブへの研修や一般住民向けのイベントなどで啓発・周知活動をより一層充実させてまいりたいと考えている。



坂口 友良

町財政改革の数値目標は出たのかを問う

問 経常収支比率は99.6%で県下ワースト4である。県下平均並みにしないと新規事業も進められず、今だに学校のトイレの洋式化も半分程度である。天理の新清掃センター建設の参加など巨額の新規事業も目の前である。ムダを排し町民にも節約ムードを知ってもらい、非常事態宣言も必要だが進み具合はどうか。

山村町長 今後5年間は90%台半ば、その後5年間で90%台前半まで改善する目標とする。適正な施設総量と配置を目指し、職員一人ひとりが日常的な事務から節約や削減に取り組み、コスト意識の浸透を図り事務改善を進める。

生活支援コーディネーターの具体的な計画を問う

問 総合事業が3月スタートする。

本町では担い手の養成や地域に不足するサービスの創出などこれから準備する面も多数ある。それらを取りまとめるコーディネーターは重要な役であり、選任など具体的な計画は進んでいるのかを問う。

山村町長 町全体の福祉、公益的視点各関係機関を繋ぐ役割等重要な位置付けである。県の講座に福祉課から2名、町社協から1名参加し、社協と委託契約を行っていく。

魅力ある町立幼稚園教育の立て直しは進んでいるのかを問う

問 真美二幼稚園は平成19年の232名が年々激減し、27年年度は54名である。真美ヶ丘には町外私立幼稚園のバスがほとんどきては園児を乗せていく。本地区は幼・小・中一貫のスーパー教育が出来る地区であり、魅力ある幼稚園教育を行えば再建は充分可能であるので立て直し策を問う。

山村町長 幼稚園の機能、保育園の機能をして地域の子育て支援を併せ持った一体型の施設が望ましいと考え、今までの地域性や独自性を生かしつつもより質の高い教育・保育を提供していく。



坂野 佳宏

西小学校の建替えについて

問 西小学校区は今後も学童人口が増え続ける地域である。約48年経過しており、増築は適さない。大至急、建て替え計画を立案し、教育環境を整えて頂きたい。

山村町長 議員ご指摘のとおり、築48年を経過し、老朽化していることは事実ではありますが、平成10年と11年に耐震化に伴う改修を実施しております。

昨今、長寿命化が推し進められており、耐用年数が延びる傾向にあります。本町と致しましては、新校舎の建て替えを視野に入れて考えておりますので、町の財政事情と国の補助金が見込めるかどうか、児童の変動、立地条件等の情報を収集、検討しながら建て替えに向けた検討を進めてまいりたいと考えております。建て替えまでの間の対応と致しま

して、児童増に対しては、プレハブ教室の設置、さらに、学校の選択制や校区変更も視野に入れて対応してまいりたいと考えております。
耐震改修後17年経過しており、県国と協議し、改築に向けてのスケジュールを立ててまいります。





笹井 由明

地方創生（総合戦略）について

問 ① 今年度、国の交付金事業の実施状況と成果について伺います。
 ② 国の新型交付金、地方創生加速化交付金のしくみと対象事業について伺います。
 ③ 総合戦略の中で定住化促進にかかる予算編成について伺います。

山村町長 ①「消費喚起型」においては、北葛4町合同によるプレミアム商品券を発行しました。これは、20%のプレミアムを付け、発行総額9億円となっています。

次に、「地方創生先行型」においては、総合戦略策定事業、中小企業設備投資促進事業、就農推進事業、HPRリニューアル事業、幼稚園預かり保育事業の5事業で総額約3,000万円の概算交付を受けており、交付率は10分の10であります。

② 加速化交付金については、一億総活躍社会実現に向けた効果の発現が高い事業が対象となっており、広陵

元気号の試行運行、北葛4町による「すむ・奈良・ほつかつ・移住プロジェクト」など、合わせて5,270万円の申請をしており、3月中旬に交付決定の見込みであります。

また、平成28年度以降の新型交付金については、地方創生推進交付金として新たに設けられます。交付率は2分の1であり、総合戦略に位置づけられた自主的・主体的な取り組みで、先駆性が求められています。

③ 定住化促進については、空き家利用促進事業として北葛で空き家を情報共有し、コールセンターの開設など移住促進事業を実施する予定であります。3世帯ファミリー定住支援事業については、町外に住んでいる子育て世帯と町内に住んでいる親世帯が、新たに同居または近居をするための住宅の購入費用について、20万円を上限に助成する仕組みを検討しています。



◆その他の質問事項

○ 中学校給食について

チーム学校について



吉村 眞弓美

問 いじめ、不登校生徒の実態を「チーム学校」として、学校、行政、地域が一体となって、子供たちを守る体制について広陵町ではどの様になっていきますか。学校では、課題が多様化し、高い専門性が求められるケースが多くなっています。そこでスクールソーシャルワーカー（社会福祉に関する専門的知識を有する者）を拡充するべきと考えますがいかがですか。

理事者 「いじめ防止対策委員会」を設置し、いじめ解消にむけ対処。スクールカウンセラーや臨床心理士により心のケアに努めている。県でのスクールソーシャルワーカーの登録は少なく、引き続き要望をしていく。

代筆支援について

問 日常生活を送る上で、「読むこと」と「書くこと」は必要不可欠で

あります。しかし、金融機関や役場等から送られてくる書類は、目の不自由な方や、高齢者の方にとって、読みにくく、難しいと悩む人が多いです。代読・代筆支援が必要と考えますがいかがですか。

理事者 総合事業の中で、ボランティアの育成、養成を町としてもやってみなければならぬ。そこで何らかの解消方法を地域や社協に働きかける。

古寺町営住宅の給湯器について

問 お風呂にお湯を入れるとき、3階では40分もかかり、その間、ガスをつけた状態でガス代が高くなります。とのお声を頂きました。この現状の認識と対策についてお聞かせください。

理事者 給湯器能力と水の供給バランスが階ごとに異なることが原因。平成28年度予算で受水槽改修にかかる設計業務委託費を計上しているのので、入水設備の整備と給水方法を含め最適な給水計画を検討する。連絡をいただければ担当者が現場を確認して平成29年度実施まで辛抱して頂けるのか、早急に対応しないといけないか相談をさせて頂く。



山村 美咲子

子どもを虐待から守るために

問 新しい年になって、耳をふさぎたくなるような悲惨な幼児虐待事件が続いている。

日本ではこのような悲惨な虐待による死亡事例は年間50件を超え、1週間に1人の子どもが命を落としていく。フィンランドの「ネウボラ」と呼ばれる、妊娠期から就学前までの子育て支援が今、日本で注目を集めています。フィンランドでは、どの自治体にも「ネウボラ」という子育て支援を行う施設がある。ネウボラとは、フィンランド語で「ネウボ」＝アドバイザー、「ラ」＝場所」という意味。妊娠から出産、子どもが生まれた後も基本的には6歳まで切れ目なくサポートを提供する総合的な支援サービス。「まち・ひと・しごと」創生パッケージでも「子育て世代包括支援センター」整備があげられている。急速に進む少子化対策として、仕事と家庭の両立が急務になってい

るが、子育てに必要なサポートが十分に整っているとは言えない。幼い生命を悲惨な虐待から守るために、そして「ワンストップ」で子育てを支え、子どもの健やかな成長につなげるために何う。

① 広陵町の妊娠期相談体制、産前、産後サポート、産後ケアの取り組みについて

② これらをワンストップで包括支援するための子育て世代包括支援センターについて

③ 保健師等専門職の「ネウボラおぼさん」の育成について

④ 既存のネットワークや町内会を活用して妊娠から子育てまで地域全体で支援する仕組みが必要ではないか。

山村町長 産前・産後サポートや子育て支援プランを策定する子育て世代包括支援センター、妊娠期から就学前にかけての子ども家庭を対象とする切れ目のない支援制度であるネウボラ、地域ぐるみの子育てネットワークなど、妊娠から出産までの一貫した支援の拠点や環境整備が必要と考えている。産前産後も含めたカウンセリングができる助産師、保健師、看護師等の専門職や子育てをサポートするさまざまな人材の育成に務め、事業に結び付けたいと考えている。



谷 禎一

広陵町は法令違反に責任ある対応を！

問 保育園園舎違法建築問題について事実確認を明確にし、法令違反に対して原因、責任の所在を明確にして町自らが意識改革に取り組むよう12名の議員が意見を附した。旧態依然とした『役所の以前からある体質』を反省し、引責は提案されたものの他は未だ改善方針など明確にされていない。現場責任者である副町長の言動は相反し、混乱を招いた。この経過を踏まえ適切な調査報告と引責を考えられるよう。

理事者 建築確認は工事と並行して得ることは事前に県、土木事務所とも協議した。また、事前使用についても土木事務所と協議している。建物は完成しても使用しないとしていたがこのようなこととなり申し訳ない。町長、副町長の給与の減額20%3ヶ月については熟慮したうえで上程した。議員各位の判断を頂きたい。

繰り返される税金の投入！

問 給食センターの工事は順調に進んでいるが、同センター建設検討会では「土地を買収？」「広陵町・香芝市の両議会が交渉？」や「協定書の締結等」について一部ありもしない発言が賃貸料0円や3億5,900万円の追加予算となった。

工事内容が変わらず設計金額の大幅な増額や、関係許可の大幅な遅延などで給食実施が4月から9月に延期となったことは、設計事務所の責任は大きい。

協議会及び設計事務所の説明を聞きたい。

理事者 検討会は意思決定に至るまでの打合せ会議であり、3億5,900万円の追加予算は会議内容とは別。入札不調の結果、工事内容は変わらず設計予算の掛率を変更したもので予算増額となった。





八尾 春雄

自衛隊に若人の名簿を閲覧 させているんじゃないか

問 個人情報保護を業務とする町役場が、公益を口実に、真逆なことをしていることが明らかになり町民から驚きと怒りの声が出ている。累計で何名の名簿を閲覧させたのか。本人と保護者に事実を明らかにし謝罪するとともに、今後こうした閲覧を中止すべきである。「中止する」との言明を求める。

山村町長 平成2年4月2日生まれから平成13年4月1日生まれまでの4,070名の個人情報閲覧させた。この閲覧容認は住民基本台帳法第11条の規定により行ったものであり反省はしていない。自衛隊は国の防衛・災害対策を担うもので、組織を維持するために閲覧を中止するつもりはない。

近鉄箸尾駅の 無人化問題について

問 町内唯一の軌道駅である。無人化による利用者との問題は発生

していないか。東側道路は広陵高校生徒の通学路でもあり歩道が必要だ。安全対策として、町の委託を受けた職員が箸尾駅構内を巡回できるようにしてほしい。

山村町長 平成23年10月から無人駅となった。町は駅員配置を近鉄に申し入れたがかなえられていない。歩行者の安全確保のために用水路側か田んぼ側で歩道設置の検討が必要だ。構内巡回は機会があれば近鉄と協議する。

平成28年度施政方針について

問 「一億総活躍社会」の文言を発見した。国立大学授業料を40万円も増額しようとする動きや、奨学金制度が貸与制(利子付)が殆どで給付制が殆どない現実は何のように認識しているのか。これでは総活躍の土台はゆらぐ一方だ。

山村町長 女性や高齢者が一層活躍できる社会をめざしたい。国立大学授業料は増額の可能性があると思うが経営効率改善に資する提案だ。

◆その他の質問事項

○井堰の移動・新設・補修に関する件

○有線放送設備の故障と今後の防災対策について



山田 美津代

買い物でお困りの 町民への支援を

問 昨年12月議会で提案した移動スーパー車などの検討はされましたか？他の対策など検討されていますか。

山村町長 買い物難民対策は社協でも研究していただく必要を感じている。ならコープが南郷池の店舗の計画が進んでいるし、平尾もエバグリーンができる。ネットスーパーや民間宅配サービス、地域の助け合いでも買い物弱者は減らせると思うが、コープなどの移動販売車を増車して町にも来てもらえないか検討していきます。

デマンドタクシー導入を

問 元気号では、行きは良いが帰りに何時間も待たなくてはならず買い物には行けない。歩いてバス停まで行くのが遠くて使えない。などのご意見があります。この4月から増

便されますが、このデメリットは改善されています。10月からは有料化されます。香芝市でも実施されているデマンドを連携協定の中で広陵まで拡大する方向での話を進めてみてはいかがでしょうか？

山村町長 香芝市との連携での話はまだ協議中でデマンド乗り入れは検討されています。

デマンドの組み合わせやタクシー補助券など比較検討した結果、元気号の再編を行うこととしました。

給食費無償化や 保育料減額を

問 1222の自治体ですでに補助や無償化を進めている義務教育無償化の原則に基づき広陵町も子育て支援で給食費無償化を進めて頂きたい。

保育料、減額も1万円減額は保育所児819人なので819万円あれば実施できるのではないかと。

山村町長・松井教育長 家庭で弁当を作っても経費が掛かります。学校給食法に基づき経費負担は保護者にお願ひしています。保育料は昨年、国基準による改正を行い改正前より月539円減額となっている。近隣と比較しても町は安い設定となつていきます。

委員会の窓

第1回定例会(3月議会)に上程された議案は、総務文教委員会、厚生建設委員会及び予算審査特別委員会に付託された31件について審査を行いました。

その主な審査内容と結果をお知らせします。

総務文教委員会

議案15件

議案第1号 広陵町行政不服審査会設置条例の制定について

問 行政不服を申し立てそれを行政が承るこの意義は。

答 基本的に使いやすい制度であること、公平性が確保されていなければならぬこと、救済手段についても拡大を図らなければならないものであることと考えている。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第2号 行政不服審査法の

施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第3号 地方公務員法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第4号 広陵町行政組織条例の一部を改正することについて

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第5号 広陵町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正することについて

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第6号 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正することについて

問 保育園の増改築に関し、こと

の重大性に対し、住民と温度差があるように感じるが、「20%、3ヶ月の減俸」をどのような根拠に基づき算出されたのか

答 他市町村の動向を踏まえ決めたものであり、責任の所在を明確にするために減額するものである

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第7号 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正することについて

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第8号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正することについて

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第9号 職員の旅費に関する条例の一部を改正することについて

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第10号 広陵町学校給食費徴収条例の一部を改正することについて

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第13号 平成27年度広陵町一般会計補正予算(第5号)

問 年金生活者等支援臨時福祉給付事業の手續きの方法は。

答 低所得の年金生活者に支給するものであり、6月中には支給できるよう事務を進めているところである。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第18号 平成27年度広陵町学校給食特別会計補正予算(第2号)

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第28号 広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略を定めることについて

問 人口減少の原因については。

答 一番は、出生率の低下と考えられており、現在の町の出生率は1.43であるが、今後人口を維持するためには、2.07を目標としなければならない

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。



議案第29号 広陵中学校配膳施設増築工事に係る請負契約の変更に
ついて

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第30号 真美ヶ丘中学校配膳施設増築工事に係る請負契約の変更に
ついて

問 許認可関係の許可をすべて取得されているか。

答 平成27年11月25日に確認済証の交付を受けている

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

厚生建設委員会

議案7件

議案第11号 広陵町介護保険条例の一部を改正することについて

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。



議案第12号 広陵町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び広陵町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のため効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正することについて

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議員提出議案第1号 広陵町廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正することについて

問 ゴミ無料化の将来の見通しは。

答 有料化になって10年。分別・減量・リサイクルと住民意識は高まっている。ゴミ袋にお金をかけたくないからゴミを減量するという点ではなく、この意識の向上という点に焦点を当てた施策が必要。無料にしたら、10年間の努力が台無しになるのか、ほぼ習慣になりつつあることを大事にしていることなのか、町や議会議員や住民自身が住民をどうみているかである。

結果 賛成少数で否決すべきものと決しました。

議案第14号 平成27年度広陵町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

問 保険基盤安定繰入金を保険税軽減のために使わずなぜ基金に積み立てるのか。

答 いったん基金に積み立てし、今後の財政運営の状況に応じて保険税の抑制財源としたい。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第15号 平成27年度広陵町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第16号 平成27年度広陵町介護保険特別会計補正予算(第3号)

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第17号 平成27年度広陵町墓地区事業特別会計補正予算(第1号)

結果 質疑、討論もなく、全員一致で可決すべきものと決しました。

予算審査特別委員会

議案9件

議案第19号 平成28年度広陵町一般会計予算

問 ふるさと納税について、町のマスコットキャラクターである「かぐやちゃん」を利用して、もつとアピールしては。

答 納税したくなるような返礼品を工夫して参りたい。また、「かぐやちゃん」関連の商品化も検討していきたい。

問 グリーンパレスの有効活用についての考えは。

答 地方創生総合戦略の中で、働く拠点として企業に利用していただけるよう研究していきたい。

問 がん健診の取り組みについての現状は。

答 肺がん検診について、コールリコール事業を行い、検診の機会を増やした結果、受診率も上がり効果的であった。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。



議案第20号 平成28年度広陵町国民健康保険特別会計予算

問 特定健診に対する受診率向上に向けての取り組みは。

答 受診者の意向や現在の状況を把握しながら受診率向上につなげている。クーポン券、ポイント制度などで受診率が向上するのであれば積極的に取り入れていくことも可能である。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。



議案第21号 平成28年度広陵町後

期高齢者医療特別会計予算

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第22号 平成28年度広陵町介護保険特別会計予算

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第23号 平成28年度広陵町下水道事業特別会計予算

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第24号 平成28年度広陵町墓

地事業特別会計予算
結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第25号 平成28年度広陵町学校給食特別会計予算

問 値上げされた給食費の料金設定の見直しは。

答 賄い材料費に不足が生じているが、学校の実態も精査しながら、子ども達に安全で安心した給食を提供するために努力は続けていきたい。

結果 賛成多数で可決すべきものと決しました。

議案第26号 平成28年度広陵町用地取得事業特別会計予算

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

議案第27号 平成28年度広陵町水道事業会計予算

問 南郷浄水場の処分は町として多く収入を得られる方法を。

答 再度、協議し原案をまとめて、改めて執行前に議会と相談をさせていただきます。

結果 全員一致で可決すべきものと決しました。

定例会と臨時会

町議会には、定期的に開かれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があります。定例会は、条例で年4回と定められており、3月、6月、9月、12月に開催され、町政の方針や予算など、住民生活に重要な事項を審議します。

定例会、臨時会では、はじめに会期（会議を行う期間）が決められ、原則として、その期間中に本会議や委員会を開いて、議案の審議などを行います。

招集

定例会と臨時会は、いずれも町長が招集しますが、臨時会については議員定数の4分の1以上の議員の請求により招集される場合があります。

議会の傍聴にお越しく下さい!

議会はみなさんに公開しています。気軽に来て下さい。



町議会本会議は、役場3階の議場で、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。次回は6月に開かれる予定です。日程については、5月下旬に議会事務局までお問い合わせください。ホームページにも掲載予定です。

ホームページ <http://www.town.koryo.nara.jp>

意見書

無電柱化の推進に関する
法整備を求める意見書

地域住民の生活環境の改善や地域の活性化を図るため、とりわけ防災性の向上や安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等の観点から、無電柱化の取組を計画的かつ円滑に進めることはとても重要である。

しかしながら欧米はおろか、アジアの主要都市と比較しても我が国の無電柱化割合は著しく低く、近年異常気象等の災害による電柱の倒壊に伴う救援救助等への影響や、いたましい通学児童の交通事故、急激なインバウンド効果による海外観光客の増加などから、無電柱化に対する地域の要望は極めて強いものとなっている。

つきましては、国におかれましては、災害の防止、安全で円滑な交通の確保、良好な景観の形成等を図るため、無電柱化の推進に関し、基本理念や責務、推進計画の策定等を定めることにより、施策を総合的、計画的かつ迅速に推進し、公共の福祉の確保や生活の向上、地域経済の健全な発展に貢献する無電柱化の推進に関する法律の早期成立を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月11日

【送付先】 衆議院議長 参議院議長

意見書

児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

本年1月の埼玉県狭山市における3歳女児の死亡事件や、東京都大田区での3歳男児の死亡事件など、児童虐待により幼い命が奪われる深刻な事態が続いています。

家庭や地域における養育力の低下、子育ての孤立化や不安・負担感の増大等により、児童虐待の相談対応件数は増加の一途を辿り、複雑・困難なケースも増加しています。こうした現状に鑑み、政府は昨年12月、すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクトにおいて「児童虐待防止対策強化プロジェクト」を策定しました。

政府においては、同プロジェクトで策定された施策の方向性を踏まえ、児童虐待発生予防から発生時の迅速かつ的確な対応、自立支援に至るまでの一連の対策強化のため、早期に児童福祉法等改正案を国会に提出するとともに、下記の事項についても速やかに実施するよう強く要請いたします。

記

- 1 児童虐待の発生を予防し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を実現するため、「子育て世代包括支援センター」を法定化し、全国展開を図ること。また、孤立しがちな子育て家庭へのアウトリーチ支援を強化するため、子育ての不安や悩み等を抱える家庭への養育支援訪問事業や、ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）事業を全ての自治体で実施できるようにすること。
- 2 児童相談所全国共通ダイヤル「189」の更なる周知を図るとともに、児童相談所につながるまでに数分かかっている実態等を早急に見直し、通報しやすい体制を整えること。また、通報に対し、緊急性の判断や関係機関との連携を的確に行える体制整備にも努め

ること。

- 3 児童虐待が発生した場合、迅速かつ的確な初期対応が行われるよう、児童相談所の体制や専門性を抜本的に強化すること。特に児童福祉司、児童心理司、保健師等をはじめ職員配置の充実、子どもの権利を擁護する観点等から弁護士等の活用等を積極的に図ること。
- 4 学校や医療機関、警察等関係機関における早期発見と適切な対応を図るため、児童相談所と関係機関との間における緊密な連携体制を再構築すること。特に、警察と児童相談所においては、虐待の通報を受けた場合、虐待の有無にかかわらず、情報共有を図ること。また、一時保護等において警察と児童相談所が共同対応する仕組みを全国で構築すること。
- 5 一時保護所における環境改善を早急に図るとともに、量的拡大を図ること。また、里親や養子縁組を推進し、家庭的養護のもとで子どもたちが安心して養育される環境を整えること。
- 6 被虐待児童について、18歳を超えても引き続き自立支援が受けられるようにするとともに、施設退所後や里親委託後の児童等に対しきめ細かなアフターケア事業を全国で実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年3月11日

【送付先】 内閣総理大臣 厚生労働大臣
文部科学大臣 法務大臣 総務大臣
国家公安委員会委員長

意見書

食品におけるトランス脂肪酸の表示に関する意見書

トランス脂肪酸は、マーガリンやショートニングなどを使った菓子類や揚げ物に含まれており、過剰に摂取すると血液中のLDLコレステロール、いわゆる悪玉コレステロールが増加する一方で善玉コレステロールが減少し、心筋梗塞や虚血性心疾患などの発症リスクが高まるとの研究結果が示されています。

日本人のトランス脂肪酸摂取量は平均値で総エネルギー摂取量の約0.3%と推定されており、世界保健機関（WHO）が心血管系疾患のリスクを低減し、健康を増進するための目標として提示している1%を下回っているため、国はトランス脂肪酸に起因する健康への影響は小さいとしているものの、内閣府食品安全委員会がまとめた報告書では、脂質に偏った食事をしている人は留意する必要があるとしています。

食生活の欧米化が進む中、食品に含まれるトランス脂肪酸の有無及び量を知ることが消費者の知る権利であるとともに健康を維持する観点からも重要です。

よって広陵町議会は、国会及び政府に対し国民の心血管系疾患のリスクを低減し、健康を増進するとともに、食品におけるトランス脂肪酸の含有量を知る権利を満たすために、トランス脂肪酸の含有についての表示の義務化など情報提供の充実を行うよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成28年3月11日

【送付先】 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣

総務大臣 厚生労働大臣 農林水産大臣

内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全）

議員研修の報告

名張市議会へ視察研修に行きました。



平成28年2月1日（月）当町議会議員11名が調査研究のため、三重県名張市役所において視察研修を実施しました。

視察の目的として、介護保険の要支援者が市町村事業に移されるなど、これからますます地域で町民が健康で元気に過ごせるための仕組みづくりが求められています。

今回は、先進地である名張市の“地域の予算は地域が決める”という「ゆめづくり地域予算制度」について、本町のまちづくりに生かすために、今後のまちづくりや地域コミュニティー、区長制度のあり方など、地域課題の解消に向けての取り組みを調査研究するうえで大変参考になる視察研修となりました。

岩手県矢巾町議会が視察に来られました。



平成28年2月9日（火）岩手県矢巾町議会から6名の議員が会派合同による調査研究のため視察に来町されました。

目的は、広陵町が平成27年度実施した北葛城郡4町でのプレミアム商品券共同実施により1自治体町単独実施より広域連携で実施することで、住民にとりましてもより大きな効果があったことに注目されていました。

また、こうした遠方の自治体との情報交換の場は今後の広陵町の施策にも非常に勉強になるものとなりました。

議会日誌

2月

10日 北葛城郡町議会議長会総会・

永年勤続等表彰式

23日 議会運営委員会

25日 第1回定例会(初日)

3月

3日 第1回定例会(2日目)

4日 第1回定例会(3日目)

7日 総務文教委員会

厚生建設委員会

8日・9日 予算審査特別委員会

11日 議会運営委員会

第1回定例会(最終日)

16日 中学校卒業式

17日 幼稚園卒園式

18日 小学校卒業式

22日 広報編集委員会

28日 県町村議会議長会定期総会

4月

3日 議会議員選挙

7日 小学校入学式

8日 広報編集委員会

中学校入学式

11日 幼稚園入園式

15日 第1回臨時会

広報編集委員会

ご入園・ご入学
おめでとう!



編集後記

衝撃の低投票率51・24%

選挙の投票率が下がり続け今回ほぼ2人に1人が棄権したことは議会だより編集者として黙過できない重要な事柄です。選管は初めて議会公報の発行で投票判断基準を追加し、議会は議会基本条例の制定と議会報告会を開始した直後の選挙でしたから、これらの取り組みがまだ効果を上げていないこととなります。

一方、昨年取り組んだ議会アンケートでは、議会傍聴には行かなくても、議会だよりは4人に3人が読んでいることが判明しています。任意に配布される議員の議会報告や議会のHPをつくり動画で議会「傍聴」や土日議会なども検討してはどうかとの意見もあります。この際よく研究してみたいものです。

(広報委員会のメンバーはこの号で交代します。一年間ご協力ありがとうございました。)

広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 坂野 佳宏 |
| 副委員長 | 八尾 春雄 |
| 委員 | 吉村眞弓美 |
| 委員 | 奥本 隆一 |
| 委員 | 坂口 友良 |
| 委員 | 八代 基次 |

